



## 次のステップへ！

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、出発する直前まで実施できるかどうかわからなかった修学旅行でしたが、無事に3日間の行程を終えることができました。

修学旅行では、教科書や授業で見たり聞いたりしたことのある物事を、実際に自分の目で確かめることで、大きな感動を味わったのではないのでしょうか。また、3日間の班別自主活動を通して、学校生活の中では気づかなかった友だちの良さや優しさ、思いがけない一面に出会う場面もあったのではないかと思います。

たくさんの体験をしてたくさんの思い出を作り、みんなの笑顔であふれた3日間でしたが、そんな楽しい修学旅行を作り上げることができたのは、他でもないみなさんたちの力があったからです。

文化祭前から実行委員たちは何度も話し合いを行って、準備を進めてきましたし、係会や班会議を通して学年の一人ひとりが自分の仕事に責任をもって行動していました。それらのひとつでも欠けるようなことがあったら、今回のような『みんなが楽しめた修学旅行』にはならなかったと思っています。

このように、学年行事の中でも最大と言ってもいい修学旅行を、みなさんは自分たちの手で作り上げることができました。今後は、その力を学校全体で発揮してくれることを期待しています。

## 太宰府について深く学ぶ

修学旅行で訪れた奈良と京都を巡ったときに、あちらこちらで太宰府との結びつきや関連に気が付いたのではないのでしょうか。また、日本の歴史上太宰府が政治的にも立地的にも重要な拠点だということも、強く感じることはできたのではないかと思います。

そんなみなさんが生まれ育った太宰府について、改めて詳しく調べ、よりいっそう太宰府のことを知って好きになってくれることを期待して、今回の総合的な学習の時間に、太宰府をアピールするためのパンフレットを作ることになりました。

作成後は、みなさんの作成したパンフレットを学年掲示板に掲載する予定ですので、いろんな太宰府を知り、機会にしてください。



## もういくつ寝ると...

12月24日(土)～1月9日(月)まで冬休み。そして、今年も残すところ約1週間となりました。

新型コロナ感染拡大の影響で、以前のようにお正月に親戚が集まるという機会は減ってきたと思いますが、それでも正月には、いつもは会えない親しい人と会ったり連絡を取ったりする機会が増えるのではないのでしょうか。また、正月はいつもと違う特別な行事や風習を経験する機会でもあります。一月の異称『睦月』の『睦』の漢字が『むつみあう』という意味をもつように、人との結びつきを大事にした日本の正月を楽しんでほしいと思います。

そのためにも、マスクの着用や手指の消毒、うがいなどの感染症拡大防止対策をしっかりしてほしいと思います。また、お箸や食器の使いまわしは極力避けるなどの家族内感染防止にも努めましょう。

1月10日(火)に、元気な姿のみなさんと会えることを楽しみにしています。

## 課題テストに向けて

12月24日(土)から冬休みが始まりますが、予定表を見るとわかるように冬休み明けの1月11日(水)には冬休み課題テストが行われます。

課題テストは『冬休みの生活』の学習内容から出題されますので、『冬休みの生活』にしっかり取り組んで、内容を理解するようにしましょう。併せて、12月に行われた2者面談中に配布した過年度の問題を解いて、問題を解くことにも慣れておきましょう。

### 保護者のみなさまへ

新型コロナ感染が拡大の兆しを見せる中ではありましたが、参加生徒の中から体調不良者が出ることもなく、無事に修学旅行を終えることができたことは、ひとえに保護者の皆様による健康管理の賜物だと感謝しております。併せて、早朝や夕刻のお忙しい時間帯に、子どもたちの送迎をしていただきましたことにお礼申し上げます。おかげで子どもたちは、充実した2泊3日の旅程を送ることができたようです。

さて、修学旅行の取り組みを終え、心身ともに一回り大きく成長した子どもたちに期待されることは『学校のリーダー』としての活躍です。修学旅行では、班や学級の中で『一人一役』を務めてきました。今後は、その経験を生徒会活動に生かしていくことが2年生全体に求められます。そこで、日頃から自分の仕事に責任を持てるように、ご家庭でもお子様に『一人一役』を与えていただければと思います。どんなに小さな仕事でも構いません。『自分がしなければならない』という責任感を、学校と家庭で連携して育みたいと考えております。